

カリン・スローターの英語 — 『偽りの眼』の言語と文化を探究する

A Linguistic and Cultural Study of Karin Slaughter's *False Witness*

田 中 芳 文
(地域文化学科)

キーワード：現代アメリカ英語，ことばと文化，カリン・スローター

1. Prolog — 薬は何種類あったのか？

動物病院に保管されている薬の種類を説明する場面がある(以下，例文中の太字と下線は田中による)。

(1) Then there was **pentobarbital**, or **Euthasol**, which was used to euthanize sickly animals. *-False Witness, pp. 155-156*

苦しんでいる動物を安楽死させるのに使うペントバルビタールやユサゾールという薬もある。 *-鈴木訳(上), p. 195*

邦訳を読む限り，「ペントバルビタール」と「ユサゾール」の2種類の薬が存在することになるが，下線部分は誤訳である。

Euthasol は，犬を安楽死(euthanasia)させるのに使用される液剤(solution)のブランド名である。**euthanasia** の **eutha** + **solutuion** の **sol** からの命名であると考えられる。米国 Virbac AH, Inc.の登録商標(registered trademark)で，社名は **virology**(ウイルス学)と **bacteriology**(細菌学)から。その薬の一般名がペントバルビタールナトリウム(**pentobarbital sodium**)とフェニトインナトリウム(**phenytoin sodium**)である。¹⁾ つまり，その場にあった薬は1種類ということになる。

次の場面では適切に訳出されている。

(2) Callie looked at the **pentobarbital**. The label identified it as **Euthasol**, and they used it for exactly what the name implied.

-False Witness, p. 556

キャリーはペントバルビタールを見やった。ユサゾールという商品

名のラベルがついているが、まさにこの薬品はその名のとおり^{ユーサネイジア}安楽死に使用される。
-鈴木訳(下), p. 262

米国の作家 Karin Slaughter の作品に見られる英語表現については田中 (2022b), 田中 (2023a), 田中 (2023b)で検討したが、本稿では、米国南部 Georgia 州を舞台にした彼女の作品 *False Witness* とその邦訳『偽りの眼』を取り上げて、現代アメリカ英語の諸相について「ことばと文化」の視点から検討を試みる。取り上げる項目は、ブランド名、犯罪・捜査の英語、医療語表現、サッカー・ジャーゴン、間投詞、地域方言である。

2. ブランド名 : Mr. Microphone

次の場面では、娘の学芸会の舞台の様子が描かれている。邦訳の「懐中電灯」と「家庭用カラオケマイク」はいずれも普通名詞(*common noun*)であるが、原文ではそれぞれ **Maglite** と **Mr. Microphone** が使われている。

Maglite は、すでに山田・田中 (2011)に収録したように、耐衝撃性・耐水性に富み、警察や軍隊でも使われるもので、ありきたりの「懐中電灯」ではない。

“Maddy’s old school—”

“Had a cardboard box for a stage and **Maglite** for a spot and a **Mr. Microphone** for sound”
-*False Witness*, p. 39

「マディの前の学校は—」

「段ボールのセットにスポットライトは懐中電灯、音響は家庭用カラオケマイクだった。[後略]」
-鈴木訳(上), pp. 54-55

Mr. Microphone は、米国 Ronco Teleproducts, Inc. (1964年に Ron Popeil が創業) 製のポータブルマイク・スピーカー(*portable microphone and speaker*)のブランド名である。AM ラジオ受信機も付属品として含まれる **Mr. Microphone II** もある(Wood 1986)。1970年代から1980年代にかけて大ヒットした商品で、テレビコマーシャルもよく知られている。²⁾ コーパスの COCA には 17 例があるが、そのうちの 13 例は 1990年代のものである。

3. 犯罪・捜査の英語

1) cross

cross-examination は「反対尋問」のことで、*OED Online* の初例は 1827 年である。単に **cross** だけでこの「反対尋問」を指す場合もある(『英米法律語』)。

Leigh nodded again. “I’ll make sure to bring that out during **cross**.”

-*False Witness*, p. 284

リーはふたたびうなずいた。「**反対尋問**で言及するわ」

-鈴木訳(上), p. 348

2) good cop/bad cop

2人組の警官の一方が高圧的態度、もう一方が同情的態度で被疑者を取り調べるテクニックを《米警察俗》で **good cop bad cop** と呼ぶ。エド・マクベイン(Ed McBain)の作品にも出てくる表現。**nice cop tough cop** とか **Mutt and Jeff** などとも呼ばれる(山田・田中 2005, 山田・田中 2012)。

“This isn’t **good cop/bad cop**.” Leigh showed him the gun.

-*False Witness*, p. 527

「いい**警官**と悪い**警官**をやってるわけじゃないのよ」リーは彼に銃を向けた。

-鈴木訳(下), p. 229

3) jury consultant

Reggie said, “You should really get a **jury consultant**.”

-*False Witness*, p. 278

レジューは言った。「**陪審コンサルタント**を呼ぶべきだよ」

-鈴木訳(上), p. 341

この場面に登場する **jury consultant** は日本ではなじみが薄いですが、「陪審コンサルタント《陪審選定を有利に進めるために雇われる専門家》」(『リーダーズ英和 3』)の説明でおおむねよい。自分たちにとって有利な評決が下される可能性が高くなるような陪審員(juror)を選定するよう弁護士を手助けするコンサルタントである。心理学者が務める場合もある(Davis 2016)。

4) turn oneself in

turn in には「(犯人などを警察に)引き渡す」の意味がある。**turn oneself in** は「自首する, 出頭する」の意味になる(山田・田中 2005, 山田・田中 2012)。

“I’m going to do what I should’ve done three days ago,” Leigh told him. “I’m going to **turn myself in**.”

-*False Witness*, p. 539

「3日前にすべきだったことを, いまからやる」リーは言った。「わたし,

4. 医療語表現

1) IR と XR

ADHD と呼ばれる注意欠陥多動性障害 (attention deficit hyperactivity disorder) などに対して使用される中枢神経刺激薬 (CNS stimulant) のブランド名に Adderall があつた。Adderall XR の **XR** は, extended release (徐放性の) の略語で, 薬剤の溶解に時間差があり薬効がより長く持続ことを表すものである。厄介なことに, 同様に extended release を表す略語には, Ultram ER の **ER** や Minipress XL の **XL** もある(山田・田中 2016, 田中 2022a)。

Adderall について説明する場面がある。

Adderall came in two versions, **IR** for immediate release and **XR** for extended release.

-*False Witness*, p. 440

アデロールには 2 種類ある。速放性の **IR** と, 徐放性の **XR** だ。

-鈴木訳(下), p. 126

この場面に出てくる **XR** については *DDMAA7* や *SMAAS* にあるが, **IR** についての情報がない。例文にあるように immediate release の略語である。最新の *DDMAA8* が収録した。

2) mask と PPE

PPE は **personal protective** (または **protection**) **equipment** の頭文字で, 有害な物質や環境から保護したり, 感染症への感染を防いだりするために使用されるものである(*OED Online*)。標準予防策 (Standard Precautions) の一部で, 具体的な装備には, laboratory clothing, disposable gloves, eye protection, face mask が含まれる (*Mosby's*)。学習英和辞典では, 最新の『ジーニアス英和 6』が収録したが, *OED Online* の初例は 1977 年である。

次の 2 つの場面の邦訳には, 「マスク」が登場する。しかし, 原文を見ると, 例文(1)では **mask**, (2)では **PPE** が使われている。(2)の場合に「マスク」と限定するのは適切ではない。

(1) The auditorium was one-quarter full, taped-off empty seats keeping everyone at a distance. **Mask** were mandatory. -*False Witness*, p. 34

観客席は 4 分の 1 ほど埋まっているだけで, 無人の席にはテープが張られ, 客同士の距離を確保している。マスクは必須だ。-鈴木訳(上), p. 48

(2) The class were smaller. The students rotated in pods of ten. Extra staff kept the classrooms sanitized. **PPE** was mandated. Everyone followed the protocols. -*False Witness*, p. 40

学校はクラスの人数を減らした。子どもたちは 10 人のグループに分かれ、交替で登校する。臨時職員が教室を消毒する。マスク着用は義務だ。感染対策マニュアルに従わない者はひとりもいない。

-鈴木訳(上), p. 55

3) rehab center と psych unit

rehab は《口語》で、もとは《米》である。**rehabilitation** の尾部省略(back clipping)でできた語で、もともとは、短縮することでスペースを節約し、労力をかけずに書くため、つまり “graphic abbreviation” として使われたもの。³⁾ 次の場面に出てくる **rehab center** のほかに、**rehab clinic**, **rehab nurse**, **rehab program** などがある(*OED Online*)。

Callie thought about her own medical charts scattered across so many different **rehab centers** and **psych units**. -*False Witness*, p. 312

キャリーは、自分のカルテがあちこちの更生施設や精神科病棟にばらまかれているのを思い浮かべた。 -鈴木訳(上), pp. 380-381

OED Online が示す 4 つの具体例は、COCA では次のようになっている。

rehab center	268 例	rehabilitation center	452 例
rehab clinic	52 例	rehabilitation clinic	32 例
rehab nurse	5 例	rehabilitation nurse	1 例
rehab program	137 例	rehabilitation program	310 例

一方、**psych unit** は **psychiatric unit** (精神科病棟) のことであるが、**psych** が **psychiatric** の尾部省略でできた語であることを説明する辞書は見当たらない。*OED Online* も **psychology**, **psychologist**, **psychiatry**, **psychiatrist** の略語であることしか示していない。「精神科病棟」指す語には **psychiatric ward** もある。COCA によると次のようになっている。

psych unit	25 例	psychiatric unit	97 例
psych ward	233 例	psychiatric ward	205 例

5. サッカー・ジャーゴン: defensive midfielder

登場人物の娘がサッカーの練習をしている様子を描く場面がある。邦訳で「ボランチ」の部分は、原文では **defensive midfielder** が使われている。

Her ponytail barely had time to brush her shoulders as she ran after the **defensive midfielder**. *-False Witness, p. 371*

ポニーテールの先端が肩に着地するひまもないほど相手チームのボランチにぴったり貼りついている。
-鈴木訳(下), p. 46

midfielder は、スポーツ、特にラクロスやサッカーの試合においてフィールド中央部でプレーする選手で、**midfield** と呼ばれる(*OED Online*)。英和辞典にも収録されているが、『新英和大 6』が **midfield** で「(ラクロス (lacrosse) やサッカーの)ミッドフィールド《中央部に位置し攻撃・防御を行う三選手》」と説明している下線部分は正確ではない。チームが採用するシステムによって、**midfielder** の人数も変わるからである。守備的役割の **defensive midfielder** は **holding midfielder** と呼ばれることもある。^{4), 5)}

スローターの作品に登場する陸上競技のジャーゴン **blind pass** については、田中(2023*b*)で取り上げた。

6. 間投詞

1) gotcha

すでに山田(1982)で取り上げられ、竹中(2018)が詳細に検討している。

“got you”のインフォーマルな、あるいは方言の発音綴り (pronunciation spelling) の **gotcha** は、間投詞(interjection)では “one has caught, captured, or gained power over someone or something” を表す場合と、“one understands what someone has just said” を表す場合がある(*WNWCD* 5)。

次の例文(1)が前者で、この場合の **gotcha** は **gotcher** と書くこともある。例文(2)が後者で、この場合の **gotcha** は **gotcher**, または **got ya** と書くこともある(Green 2010)。

(1) This time, the plywood splintered. She yanked back the bat, and the rotted wood came off with it. “**Gotcha!**” *-False Witness, p. 226*

今度はベニヤ板が裂けた。フィルが裂け目からバットを引っこ抜くと、腐った木も一緒にぼろぼろとはがれた。「よっしゃ！」

-鈴木訳(上), p. 279

(2) “You said nice to *finally* meet you. That implies that you’d heard about me, or you were looking forward to—”

“Ah, **gotcha**. Hold on.” More pecking on his laptop.

-*False Witness*, p. 90

「あなたはわたしに “やっと” 会えてうれしいと言ったでしょう？ それはつまり、わたしについてなにか聞いたことがあるとか、わたしに会うの期待していたとか—」

「ああ、そういう意味ですか。ちょっと待ってください」レジーはまたパチパチと2本指でキーを叩いた。

-鈴木訳(上), p. 116

2) 'sup

あいさつ(greeting)の表現として使われる **what’s up?** は、次の場面に出てくる **'sup?** のほかに **wassup?** **whassup?** **wha’s up?** **what up?** **whazzap?** **wuzzup?** **'zup?** のように書かれることもある(Green 2010)。

“**'Sup girl?**” Trap was leaning against the wall smoking a joint.

-*False Witness*, p. 171

「よう」トラップが建物の壁に寄りかかり、マリファナを吸っていた。

-鈴木訳(上), p. 213

7. 多重否定と ain't

Wolfram and Schilling (2016)は、アメリカ英語における “An Inventory of Distinguishing Dialect Features”を示し、文法における否定(negation)の特徴として、特に多重否定(multiple negation)と **ain't** の使用の2つをあげている。

(1) “. . . . Tell him, Collier. This **ain't no** time to be a gentleman about it.”

-*False Witness*, p. 182

「[前略] 先生からも言ってやってくださいよ。紳士的に振る舞ってる場合じゃないって」

-鈴木訳(上), p. 131

(2) “. . . . Phil ripped open the bag with her teeth. “I **ain't never** met **nobody** who died from that.”

“I’ve never met anyone who died of lung cancer.” Callie shrugged.

-*False Witness*, p. 224

[前略] フィルは歯でドッグフードの袋を噛みちぎってあけた。「コロナ

で死んだやつなんか会ったことないね」

「あたしも肺癌で死んだ人には会ったことないよ」キャリーは肩をすくめた。
-鈴木訳(上), p. 277

8. Epilog — 米国南部のことば

次の場面の邦訳を読んでも、原文で **y'all** が使われていることはわからない。

“**Y'all**, I'm sorry.” Andrew stood up, eyes still on his phone, “I should check on her.”
-*False Witness*, p. 84

「申し訳ない」アンドルーが携帯を見つめたまま立ちあがった。「ちょっと彼女の様子を見てくる」
-鈴木訳(上), p. 109

y'all は、(米方言)で **you** (単数あるいは複数)の代わりに使われる。主に米国サウスミッドランド(south Midland), 米国南部, カリブ海地方で使われる地域方言(regional dialect)である(*OED Online*, 田中 2022b)。このような地域方言, 特に米国南部の方言がかなり見られるのがスローターの作品の一つの特徴である。

注

- 1) <https://vet-us.virbac.com/home/products/in-clinic-use/euthasol-pentobarbital-sodium-an.html>
- 2) <https://mrpopculture.com/the-interesting-history-of-mr-microphone/>
- 3) <https://studfile.net/preview/5081287/page:9/>
- 4) <https://www.soccercoachingpro.com/holding-midfielder/>
- 5) <https://www.rookieroad.com/soccer/holding-midfielder/>

(以上の最終アクセス日：2023年3月1日)

Texts ([] 内は本稿で使用した略記)

Slaughter, Karin, *False Witness*. William Morrow, 2022. (鈴木美朋 訳, 『偽りの眼』(上)(下) ハーパーコリンズ・ジャパン, 2022) [*False Witness*]

参考文献

- DDMAA7* = *Dorland's Dictionary of Medical Acronyms & Abbreviations*. 7th edition. Philadelphia, Philadelphia, Pennsylvania: Elsevier. 2016.
- DDMAA8* = *Dorland's Dictionary of Medical Acronyms & Abbreviations*. 8th edition. Philadelphia, Philadelphia, Pennsylvania: Elsevier. 2023.

Mosby's = *Mosby's Dictionary of Medicine, Nursing & Health Professions*.
11th edition. St. Louis, Missouri: Elsevier. 2022.

OED Online = *The Oxford English Dictionary Online*. Oxford: Oxford
University Press. 2023. [<https://www.oed.com/>]

SMAAS = *Stedman's Medical Abbreviations, Acronyms & Symbols*. 5th
edition. Baltimore, Maryland: Wolters Kluwer Health|Lippincott
Williams & Wilkins. 2013.

WNWCD5 = *Webster's New World College Dictionary*. 5th edition. Boston
and New York: Houghton Mifflin Harcourt. 2018.

『英米法律語』 = 『英米法律語辞典』 研究社. 2011.

『ジーニアス英和 6』 = 『ジーニアス英和辞典』 第 6 版. 大修館書店. 2023.

『新英和大 6』 = 『新英和大辞典』 第 6 版. 研究社. 2002.

『リーダーズ英和 3』 = 『リーダーズ英和辞典』 第 3 版. 研究社. 2013.

Davis, Mark S. (2016), *The Concise Dictionary of Crime and Justice*. 2nd
edition. Thousand Oaks, California: SAGE publication, Inc.

Green, Jonathon (2010), *Green's Dictionary of Slang*. 3 vols. London:
Chambers.

Wolfram, Walt and Natalie Schilling (2016), *American English: Dialects
and Variation*. 3rd edition. Chichester, West Sussex: John Wiley & Sons.

Wood, Donna (ed.) (1986), *Trade Names Dictionary*. 5th edition. 1986-87. 2
vols. Detroit, Michigan: Gale Research Company.

竹中裕貴 (2018), 「*gothca* を再考する」『英語の言語と文化研究』 第 30 号,
pp. 223-239.

田中芳文 (2022a), 『医療現場の英語辞典』 補遺版. 英語の言語と文化研究会.

_____ (2022b), 「現代アメリカ英語の諸相—カリン・スローターの英語表現
と背景文化を探る」『英語の言語と文化研究』 第 40 号, pp. 1-27.

_____ (2023a), 「現代アメリカ英語における医療語—カリン・スローターの
英語と背景文化を探る」『島根県立大学松江キャンパス研究紀要』 第 62 号,
pp. 105-112.

_____ (2023b), 「現代アメリカ英語の諸相—カリン・スローターの英語表現と
背景文化を解明する」『英語の言語と文化研究』 第 41 号, pp. 1-19.

山田政美 (1982), 『現代アメリカ英語—フィールドノート—』 研究社出版.

_____ (2008), 『英語の言語と文化研究—辞書篇—』 英語の言語と文化研究会.

_____ (2018), 「ブランド言語学：英語ブランド名の『新』研究」『英語の言語と文化研究』第 31 号, pp. 1-92.

山田政美・田中芳文 (2005), 『エド・マクベイン英語表現辞典』英語の言語と文化研究会.

_____ ・ _____ (2011), 『英和ブランド名辞典』研究社.

_____ ・ _____ (2012), 『犯罪・捜査の英語辞典』三省堂.

_____ ・ _____ (2016), 『医療現場の英語辞典』三省堂.

Corpus

COCA = Corpus of Contemporary American English [<https://www.english-corpora.org/coca/>]